

見逃さない・見落とさない スタンダード 胃内視鏡検査

細井董三 編

東京都多摩がん検診センター消化器科 執筆

＜書評者＞ 浜田 勉（東京都東部地域病院副院長）

編者には、食道癌と胃癌の X 線および内視鏡の形態診断に携わった膨大な実績がある。その豊富な経験から、内視鏡検査で早期癌を見落としてほしくないという熱意のもとに本書は生まれた。日常臨床で検査を実際に行う内視鏡医の立場に立って、見ている内視鏡像の理解がより進む内容で構成され、狙い通りの盲点のない内視鏡検査の指南書に仕上がっている。掲載されている内視鏡画像は正常症例であれ疾患症例であれ、すべて明瞭で的確である。

第 5 章「どのような順序で観察・撮影をすすめていくか」では、写真と図を多用し、胃全体から見

てどの部分を観察しているのかわかりやすく示され、X 線像との対比を視野に入れようとする意図がにじみ出ている。

また、第 8 章「生検のコツ」では、正確な内視鏡操作をするうえでの微細な手の動きが表現されており、まさに著者らの検査時の息使いが感じられる。なるほど指摘されれば 1 行 1 句が検査時そのように操作していると実感できる。

簡潔ながら読み進めば進むほど、本書が「スタンダード」と冠しているものの、実はかなりのテクニック本であることがわかる。自動車運転に例えるなら、教習所の教官が教える基本操作ではな

く、タクシードライバーが教える一般道での運転テクニックといえるだろう。

第 13 章「覚えておきたい内視鏡像」では、各症例の厳選されたベストショットが掲げられているので、それぞれの形態の特徴を目で確認できる。著者らの蓄えた豊富な症例の内視鏡像をもっと多く、またそれぞれの症例の捉えどころなど解説していただきたかった感が残るが、紙面の制約上やむを得なかったのであろう。

内視鏡検査を教える人にとっても教えられる人にとっても、その技術が明解に整理されている本書を手元に置かれることをお勧めしたい。

●A5 頁 168 2009 年
定価 3,990 円
(本体 3,800 円 + 税 5%)
[ISBN978-4-260-00964-5]
医学書院 刊